

新年度に入りました。3月の日本化学会春季年会もオンラインでの開催となり、静かな年度の切替わりとなりました。編集委員会もオンラインが続いていますが、今年度も会員の皆様のご協力の下、「化学と工業」が魅力ある情報発信の場となるように励んでゆきたいと思えます。

さて、今回は学生会員の皆さんに向けて編集後記を書いています。この4月から成人年齢18歳となりましたが、すでに学生会員である皆さんは、大学院生が大部分なので、ずっと前から成人という方が多く、関係の薄い出来事かもしれません。大学全体でも部活やサークル内の新入生も未成年がいらないということになります。飲酒の年齢は変わらず20歳以上なので、学生の活動にも大きな変化は少ないのだらうと思われま。そもそも、まだ、そういったイベント自体を実施できない状況の大学も多いかもしれません。

学生会員の皆さんや学生会員を経て現会員となっている我々にとって、人生のギアチェンジのタイミングは、成人ではなく、入学、研究室所属、学位取得や就職であったという方も多いのではないのでしょうか。私

自身のことを思い出しても、学生時代における最初の変化のタイミングは、研究室に所属したときであったと記憶しています。緊張しながら初めて研究室という場所に登校し、自分の座席がある生活に少し嬉しく感じました。先生や先輩との距離感がつかめるまで、様子を見ながら慎重にスタートしたことを覚えています。ちなみに、立場が変わった現在でも、学生との距離感を間違わないように、慎重に過ごしています。

「化学と工業」を初めて手に取ったのは、このような研究室生活が始まってすぐの時期でした。研究室の本棚に「化学と工業」があり、さらに研究室内で新刊を回覧していたので、自然と読む環境になっていました。その後、学生会員となって以来、長い付き合いです。本誌では以前から変わらず、学生会員の皆さんやこれから化学会に入会しようかな？という学生をターゲットにした記事があり、誌面作りにおいて、常に皆さんのことを念頭においています。4月から新たに研究室に所属した学生の皆さんがどこかのタイミングで「化学と工業」と出合うことを心から願いつつ、新しい仲間をお待ちしています。 (朝倉則行)

カラー写真ご提供のお願い

化工誌編集委員会

本誌の目次や編集後記下に掲載するカラー写真を広く会員の皆様からのご投稿をお願いしています。ご投稿いただいた写真は編集委員会で適宜選択して使わせていただければと考えています。ご投稿の際にはごく簡単な説明をつけていただき、電子ファイルの場合には高解像度のもの(300DPI以上)をお送り下さい。

以下のような写真のご提供をお待ちしています。

1. 季節感のあふれた風景・草花・野鳥・動物の写真など
2. 化学に関する写真—カラフルな物質、化学模型、電顕写真、実験機器、化学プラントなど



国営ひたち海浜公園の「ネモフィラ」 京極浩史

送付・問合せ先：101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5
日本化学会 学術情報部 「化学と工業」誌担当
電話(03)3292-6165 FAX(03)3292-6319
E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp